

# 『ひきょうだよ』

主 題 名：正義の実現のために

内容項目：C 公正、公平、社会正義

教科書 p.33 ~ 36

学習活動、主な発問、予想される児童の反応例	指導上の留意点、ICT機能の活用例
<p>「謝る」ことの大切さについて考える。</p> <p>○人に迷惑をかけたときに謝ることは大切ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いがすっきりするためにも大切。</li> <li>・礼儀だから大切。</li> <li>・迷惑をかけることはよくないことだから、謝って当然。</li> </ul>	<p>* 謝ることの大切さを尋ねると同時に、謝ってもらったときに生じる感情を板書して全体で共有できるようにする。そうすることで、後の学習活動で心理的な不均衡が生まれるようにする。</p>
<p>教材を読んで、正義の実現のために大切なことについて考える。</p> <p>○ちゃんと謝ったのに「ひきょうだよ」と言われたのは、どうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで助けてくれなかったのに、最後だけ謝っているから。</li> <li>・たかひろさんのことを思って謝ったのではなく、自分のために謝っているから。</li> <li>・みんなの前で謝らず、二人だけのときに謝っていたから。</li> <li>・たかひろさんはもうすぐ転校するのに、謝るだけ謝っているから。</li> </ul> <p>○なんとかしてあげたいと思っていた「ぼく」が、たかひろさんのために何もできなかったのは、どうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうすけさんたちに何かされるのが怖かったから。</li> <li>・周りの人たちもあまり関わらないようにしていたから。</li> <li>・ゆみさんがゆうすけさんたちに注意しても何も変わらなかったの、自分が何かをやっても意味がないと思ったから。</li> <li>・たかひろさんは笑っていて、たいしたことではないのだと自分に言いかかせていたから。</li> </ul> <p>◎このような終わり方にならないようにするために、「ぼく」はどうすればよいのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと早くたかひろさんに、自分も怖くて勇気が出ないけど、どうにかしたいという思いを伝えたほうがよかった。</li> <li>・結局、行動を起こさなかったら何も変わらないから、大人に相談すればよかった。</li> <li>・ゆみさんが、ゆうすけさんたちに注意したときに一緒に言えばよかった。</li> <li>・同じ思いをもっている友達に相談して、大人数で注意すればよかった。</li> </ul>	<p>* 「ちゃんと謝ったのに、ひきょうだよと言ったたかひろさんはよくないよね。」と問い返すことで、既存の考えとのずれが生まれるようにする。そうすることで、どうしてこのような状況になったのかについて考えられるようにする。</p> <p>* なんとかしてあげたいという思いと、何かされてしまうのではないかという怖い思いを比較することで、人間の心の弱さがいじめにつながることに気づけるようにする。</p> <p>* <b>ICT活用</b> ChatGPT：ChatGPTの回答を提示し、自分たちの考えと比較することで、いじめに立ち向かうことについての考えを深められるようにする。 ※目安：提示および話し合い5分</p> <p>* 意見として出された方法を行ったときと、行わなかったときでは何が違うかを考えることで、行動を起こすことの意味について考えられるようにする。</p>
<p>本時の学習を振り返って、発表し合う。</p> <p>○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんとかしたいという思いは、行動を起こさないと何も変わらない。</li> <li>・立ち向かっていくのは怖いかもしれないけれど、諦めてはいけない。誰かと協力して、乗り越えたい。</li> </ul>	<p>* 正義の実現へ向けて、自らを奮い立たそうとしていることを認めることで、児童の心が前向きになれるようにする。</p>

## ICT機能の活用

### ChatGPT

チャットGPTに聞いたところ……

いじめを受けている友達を助けるために、小学校6年生ができるいくつかのことがあります。

1. 【話を聞く】：友達の気持ちに耳を傾ける。
2. 【励ます】：励ましの言葉をかける。
3. 【大人に伝える】：信頼できる大人に報告する。
4. 【仲間を説得】：いじめの仲間に影響を与える。
5. 【学校に報告】：先生にいじめを伝える。
6. 【情報収集】：いじめについて学び、アドバイスを求める。
7. 【一緒に過ごす】：孤独（こどく）感を軽減するために友達と過ごす。
8. 【専門家に相談】：カウンセラーや専門家に助けを求める。

これらの行動を通じて友達のサポートをしましょう。

ChatGPTを自分たち以外の第三者として位置づけ、その考えを自分たちの考えと比較することで、正義の実現へ向けて、多面的・多角的に考えることができる。まず、事前にChatGPTに「いじめを受けている友達を助けるために、小学校6年生ができること」について質問しておく（ChatGPTはリアルタイムで回答が返ってくるよさがあるが、児童へ提示することが可能な意見かについて教師が事前に精査しておく必要がある）。そして、ChatGPTの回答をPowerPoint等のスライドにまとめておき、アニメーションを使い、一つずつ回答を見ることができるようになる。そうすることで、児童が自分たちの考えとの共通点、相違点について話し合えるようにし、正義の実現へ向けて大切なことについての理解が深まるようにする。

※ChatGPTが示す回答は、必ずしも正しいとは限らなかつたり、不適切な表現を含んだりすることがあるので、活用には注意が必要である。

板書例


謝るって大切？

- ・おたがいすっきり。
- ・れいぎ。
- ・謝って当然。

ちゃんと謝ったのに「ひきょうだよ」と言われたのは、どうしてだろう。

- ・今まで助けてくれなかったから。
- ・最後だけ謝っているから。
- ・自分のために謝っているから。

ひきょうだよ



このような終わり方にならないようにするために、「ぼく」はどうすればよいのだろう。

助けたい気持ち

- ・なんとかしてあげたい。

- ・今まで助けてくれなかったから。
- ・最後だけ謝っているから。
- ・自分のために謝っているから。

こわい気持ち

- ・自分もいじめられる。
- ・こわい。
- ・周りも関わっていない。

- ・思いを伝える。
- ・大人に相談。
- ・行動を起こさないと変わらない。
- ・ゆみさんといっしょに注意する。
- ・大人数で言う。

+ ChatGPT (なっとくできたもの)

- ・話を聞く。
- ・いじめについて学んでアドバイス。

## 児童の学習状況(活動)の評価

〔評価の視点〕

- ①友達の考えにふれ、正義の実現に向けて大切なことについて、多面的・多角的に考えることができているか。〔授業中の姿や発言、ワークシートの記述、ICT端末での記述〕
- ②正義の実現に向けて大切なことについて、自分との関わりで考えることができているか。〔授業中の姿や発言、ワークシートの記述、ICT端末での記述〕